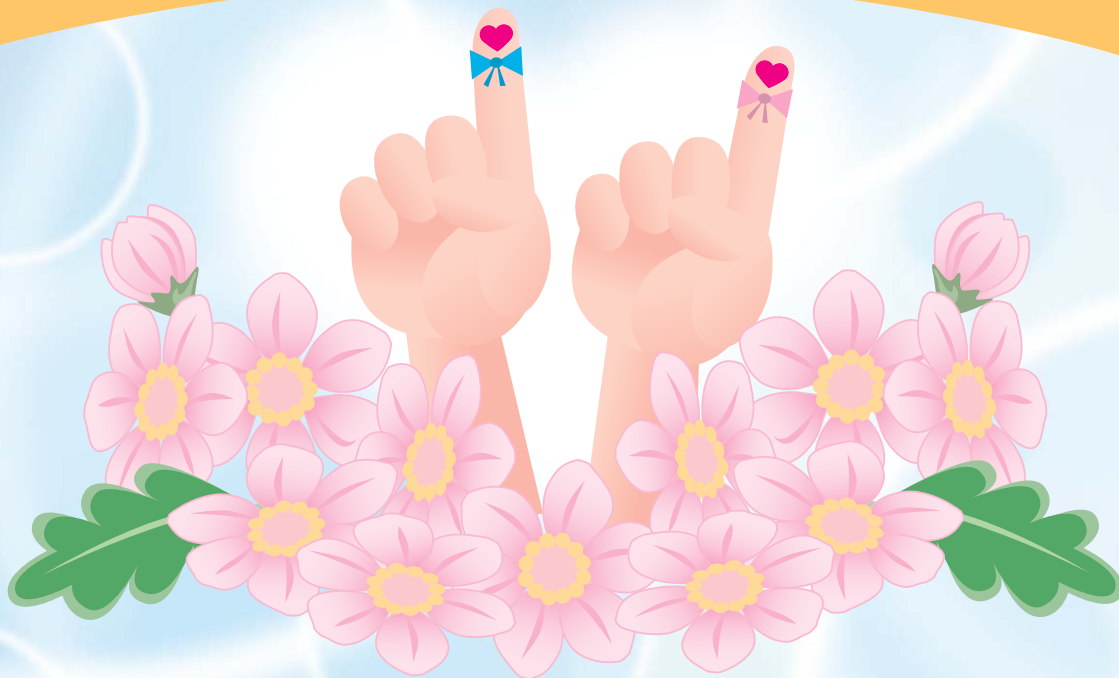


平成29年度

ちよつといい話



岐阜県環境生活部 人権施策推進課

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思っただけか、言葉や行動に、まわりの空気が温かくなったという経験はありませんか。また、あなたがつらかったとき、苦しかったときにかげられた言葉「行動」が励ましになった経験はありませんか。

このような身のまわりで経験した心温まる出来事を「ちょっといい話」として、平成29年5月10日から9月23日まで募集したところ、小学校51校、中学校20校、高等学校5校で取り組んでいただき、一般の方からの応募も含め、5,774作品を応募いただきました。そこには、

- ・正直、誠実、責任、勇気
- ・友情、信頼、献身
- ・克己、忍耐、努力
- ・思いやり、絆
- ・尊敬、感謝
- ・家族愛
- ・命の尊重

といった思いが込められています。

そのうちの中から、100作品を紹介させていただきます。

一人一人の心が共鳴しあう生き生きとしたつながりを感じていただいて、県民一人一人の心が共鳴しあう生き生きとしたつながりを感じていただいて、

【おへじ】

「小学生」

あたたかいえがお

あたらしいともだち

おかあさんのかお

おじいちゃんげんきになってね

おにいちゃんたちとがんばった

ほくのももだち

ママへおてがみ

わたしの手はまほうの手^て

わたしはおかあさん

おてつだい

わたしのおばあちゃん

雨^{あめ}の日^ひのできごと

元気^{げんき}なババーイ

・
・
・
13

・
・
・
12

・
・
・
11

・
・
・
10

・
・
・
9

・
・
・
8

・
・
・
7

・
・
・
6

・
・
・
5

・
・
・
4

・
・
・
3

・
・
・
2

・
・
・
1

小さな子にあげたいせつな服

少しだけの草とり

大切なおとうとといもつと

いっしょにがんばろうね

おじいちゃんのために

おばあちゃんのみまほう

くるまيسのおばあさん

しゅうかく楽しかったよ

まよってくれてありがとう

みんなが安心して生活できる世の中に

やさしい気持ち

わすれ物

家族

家族であまいり

気をつけてね

『がんばってね』の一言で

あいさつのプレゼント

…
…
30

あったかい豚汁

…
…
31

『あじがうし』がいっぱい

…
…
32

いっしょにサッカー

…
…
33

おじいちゃんに作った玉子やき

…
…
34

おばあちゃん大好きだよ

…
…
35

クラスの友達

…
…
36

スリッパをそろえていた男の子

…
…
37

ドジヨウを助けたよ

…
…
38

なにげない一言

…
…
39

ひみつのお手伝い

…
…
40

ぼくの弟

…
…
41

ホタル

…
…
42

やさしい言葉の力

…
…
43

わたしのおじいちゃん

…
…
44

悪時タヒーロー

…
…
45

一人のおばあちゃん

・
・
46

一人の女性と知り合った習い事

・
・
47

駅で見つけたすてきなおばあさん

・
・
48

夏祭りの出来事

・
・
49

気持ちを言葉に

・
・
50

久しぶりの再会

・
・
51

市民運動会

・
・
52

私にもできる事

・
・
53

神様のかさ

・
・
54

魔法のあいさつ

・
・
55

優しい兄

・
・
56

勇気がでた一言

・
・
57

友達のやさしさ

・
・
58

[中学生]

ありがとうであふれる私の毎日

・
・
59

うれしい手紙？

お人好しの母

かい物で

さりげない優しさたち

それぞれの良い所

トイレ

一つの料理

一緒に頑張ろう

花

感謝の言葉を伝える大切さ

言葉の力

手招き

周りの対応

大切な一言

母

勇気とやさしさ

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

友達の手紙 ともだち てがみ

伝わる喜び つたわ いじよみ

自分が変われば周りも変わる じぶん がかわれば まわり もかわる

たった一枚のレジ袋 たった いちまい のレジ袋

ちよつとした「ミ」ひろい

学んだ親切 まな した しんせつ

見た目で判断しないということ み ためで はん断 しない という こと

子猫の小さな命 こねこ ちい せいのち

助けたいと思う気持ち たす たい おも 思う きもち

「高校生」

おじいさんの枝豆 おじいさん えだまめ

おもいやし

ダメなことをダメという心 ダメ なこと をダメ という こころ

思いやりとは おも いやり とは

思いやりの心 おも いやり の こころ

・
・
86

・
・
87

・
・
88

・
・
89

・
・
84

・
・
83

・
・
82

・
・
81

・
・
80

・
・
85

・
・
86

・
・
87

・
・
88

・
・
89

助け合いの輪たす あい わ

助け合うことの大切さたす あ たいせつ

町の安全まち あんぜん

毎朝のあいさつまいあさ

小学生の優しさしょうがくせい ゆきさ

優しいスーツマンやさしい すーつまん

落とし物おとしもの

「一般」

あたたかい心あたたかいこころ

初めての日本はじめての にっぽん

双子ふたご

優しさやさしさ

・
・
90

・
・
91

・
・
92

・
・
93

・
・
94

・
・
95

・
・
96

・
・
97

・
・
98

・
・
99

・
・
100

小学生

あたたかいえがお

あまのじいじい、

かえしのげんじのじいじ、

「おはなひ」、

「おかえり」じ、

こえをかけてくださる

ちいきのみなさん、

ちよっぴりはずかしじ、

こえがちいさくなっている

わたしですが、

いつもかんしゃしています。



小学生

おかあさんのかあ

あるひ、おかあさんがきました。

「ママのお母様はうしろにないかあ、して
るかあ、どっちがかわいいいとおもっしゅ？」
うん、かわいいのは……

「ママは、わたしのあかあがいちばんか
わいせよ。」

おかあさんはうしろもわたくし。

うん、ちよっぴはお母様をうしろに
していなへんせよ、わたし私はお母様のわたくし
かあが、いちばんだいです。



小学生

おじいちゃんげんきになってね

なつやすみに、おじいちゃんとおばあちゃん、いえのちかくにひっこしをしてきました。

いえがちかくなったので、わたしはおつだいをするために、おかあさんといえにいつています。

わたしがいくと、おじいちゃんは、げんきなかおになってくれます。

あしのうごきがわるいおじいちゃんは、わたしといっしょに、あるぐれんじゅうをします。

そのすがたをみて、おばあちゃんとおかあさんは、うれしそうなかおをしています。



小学生

おにいちゃんたちとがんばった

きよねんのふゆ、おかあさんがはいえん
になってしまいました。

なんにちもたかいねつがじついで、ずい
とねていました。

いえのなががどんどんちらかっていき
ました。

そこで、いちばんうえのおにいちゃんか、
「みんなでいえをきわいでしよう。」といっ
ました。

いつもはケンカばかりしてたお母さん
にだんでちからをあわ

せて、がんばりました。

おかあさんもいつも
ちよいとよくがんばりました。



ぼくのともだち

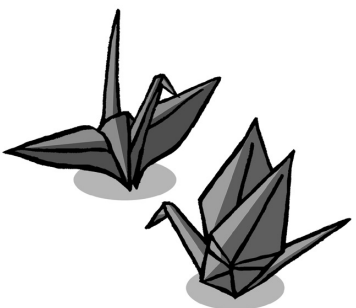
ぼくのともだちには、びみじきプレゼントもないしつげない子がいます。でもぼくは、ともだちがなにをしたいのかすこしわかります。

いっしょに遊ぶときは、プレゼント、アンケート、かたをたたいて、やってほしいことをたえてくれます。

ぼくが、ともだちがやってほしいことをぜひおぼえておいてほしいと思います。

ともだちがよむ本をくれる、ぼくせうれしくなれます。

いっしょがっしょになっても、ぼくのいいところもだれもです。



小学生

ママへおてがみ

きのう、ママがやきんあけでねて、
ママ、おてがみをかきました。

「おてがみ、いいわね。ありがとう。
ママができて、おてがみをわたしたら、
かきました。」

わたしに「ありがとう。だいすき。」と
言ってくれました。

とてもうれしかったです。

おてがみ、いいわね。ありがとう。

かよしのほうがたのしいです。

またママへおて

がみをかきたいです。



わたしの手はまほうの手^て

ママがいつもじごくからかえってきたら、
いつもわたしは、ママにかたもみをしてい
ます。

ママが、「つかれたあ〜。」といっている
かおを、えがおにさせたいからです。

ママはげんきにわらって、「う。う。ありがとう。」
と、わたしをギュッとしてくれます。

わたしもギュッとかえます。

そしてこころがポカポカになります。

わたしの手は、ふし

ぎなまほうの手^てです。



小学生

わたしはおかあさん

おかあさんは、しごとをじていて、どよ
うびにちようびもいえません。

わたしはそんなひは、いもうこのおかあ
さんになります。

いもうとは、おかあさんがいないとなき
ます。

でも、わたしがいるからと、いつもなぐ
さめます。

そんないもうとが、「おねえちゃんがい
るからなかないよ。」と、いつもひとつじ
でできないことも、じじ
んでがんばっているす
がたをみて、わたしも
がんばろうとおもった
し、うれしかったです。



おてしだい

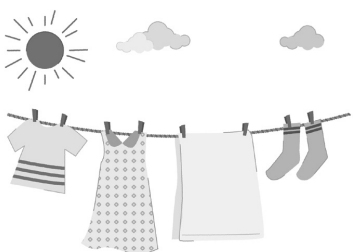
ぼくは、せんたくものをたたむお手つだ
いをしています。はじめはいやだと言いって
いましたが、だんだんなれてきました。

まい日ひたたくていゑるじ、おかあさんが、
「めじがじじい。」と言いってゑねて、じい
れいじです。

スイミングからかえってゑるじ、じい
間まにかせんたくものがたたくてめって、じ
いじしました。

おかあさんに聞きいてみるじ、「おじじいじ
がたたんでゑねたじ。「お。よ。お。
と教おしえてくれました。

ぼくも心こころからめじがじ
うじ言いいました。



小学生

わたしのおばあちゃん

わたしの90になるおばあちゃんは、夏の前に天^まごとく入^{てん}行^いきました。

わたしのいえは、むかしから同^{おな}じところ
にすんでいるので、さんぽをしていると、
はだけでとれたく^{はな}だものや花^{はな}を、「おばあ
ちゃんにおそなえしてね。」「と、きんじょ
の人^{ひと}たちがこえをかけてくれます。

わたしは、それをいえへもってかえって、
おそなえをして、手^てをあわせています。

おばあちゃんは、みんなにあいされてい
るんだな、と思^{おも}いました。



雨の日のきょうじ

雨がたくさんふっていた日、わたしは長
 ぐつで学校にいきました。

げたばこに長ぐつをいれようとしたら、
 まん中の板がじゃまになって、長ぐつを入
 れることができませんでした。

こまっているわたしを見て、Rさんが、
 その板を上にあげて長ぐつが入るように
 してくれました。

そのときわたしはものすごくうれしい
 きもちになりました。わたしもRさんみ
 たいにこまっている人がいたらたすけて
 あげたいです。



元気なバブー

わたしのいえの近じよには、小さな赤ち
やんがすんでいます。

わたしがそとであそんでいて、その子が
いえから出てきて、なんとなくしもあそ
んでいます。

ゆつやけチャイムがなつてかえるとき、
「バブーー…」と言っています。

それがともうれしいです。
そのかわいさと、うれしさと、わたしは
こころがあなたかくなります。

あいましをわたくしつらつらつらつらつ
をしたので、じぶん
もあいましをしつらつ
思いました。



小さな子にあげたいせつな服

おとつとのともだちと、にわでバーベキューをしたとき、ともだちの服に水がかかっ
てしまいました。

そのとき、わたしのちいさくなったい
せつな服をかしてあげました。

その子は、「あじがじつ。」と言っ
てうれしそうにとびはねていたので、わたしの服
も、もういちどきてもらえてうれし
そうに見えました。

わたしのおきにいりの服だった
ので、なん回もきてくれるといいな
と思います。



少しだけの草とり

ひさしぶりに、ラジオ体そつ（たいそつ）のときにも
 つかった、せせらぎ公園（せせらぎこうえん）にあそびに行きま
 した。

そしたら、ラジオ体そつ（たいそつ）のときに草とり
 をしたはずなのに、とてもたくさん草（くさ）が生
 えていました。

わたしはふくろをもっていなかったのに、
 少しだけ草（くさ）とりをしました。

そしたら、だれかが「ありがとう」と言
 ってくれたような気が（き）しました。

わたしは、とてもうれしい気（き）もちになり
 ました。

いつもあそんでい
 た公園（こうえん）が少しきれい
 になってよかったです。



小学生

大切なおとうとといもじと

「ごらー!!、ほくが先。」

「ちがう!!、ほくが先。」

「めっ!!、それだめだよ。」

「ええ〜ん。」

ほくは、おとうと、おとうと、おとうと、おとうと。

のいもじとがいます。

ほくは、「おとうとのおとうとになります。」

毎日いっしょに遊ぶ、たのしいこともあ
るけど、ケンカをしていやになることもた
くさなあります。

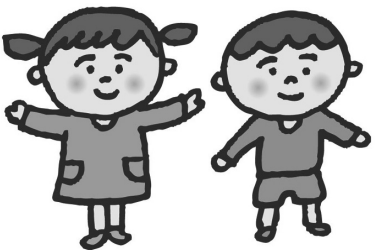
ひせ、「おとうとさん

がいるよ、だいたいいっしょに遊ぶ。

まもるんだ。」

おとうとといもじと

がやっぱり大好きです。



小学生

いっしょにがんばるからね

学校で、水泳のけん定をうけました。

わたしは100メートルのうち、このり25メートルの所で、足がついてしまいました。

いっしょにうけた友だちも、同じくらい
の所で立ってしまいました。

すぐぐいぎがくるしくて、手足もだるく
てもうこぼとけたかないと思いました。

でも、その友だちと目があつたしゅん間、
「またいっしょにがんばるからね。」と、あた
がいに同じ言葉が出てきました。

わたしは、心があし
くなりました。
がんばるからね。



おじいちゃんのため

ぼくのおじいちゃんは、足あしがわるいです。

夏休なつやすみに、おじいちゃんと出でかけた時ときに、

足あしがいたそうだったので、おじいちゃんと
手てをつなぎました。

つえのかわりになったらいいなあと思おも
ったからです。

少しすこはずかしかっただけど、おじいちゃん
がうれしそうにしていたから、ぼくもうれ
しくなりました。



小学生

おばあちゃんのみまほう

びょういんでぼくはしんさつを待^まっていました。前^{まえ}にすわっていたお父^{ちち}さんとお母^{かあ}さんは赤^{あか}ちゃんをつれていました。待^まっているのがたいくつになった赤^{あか}ちゃんは、ないてしま^まいました。

ごまっしているよ、知^しらないおばあちゃん
が、「いないいないばあ」とあやすと、赤^{あか}
ちゃんはうれしそうにドドドドと泣^なきわらいま
した。

そのお父^{ちち}さんとお母^{かあ}さんは、ホッとこっ
おばあちゃんにおじぎをしま^ました。

おばあちゃんの力^{ちから}は
やっぱりすごいなと思^{おも}
いました。



くるまイスのおばあさん

かぞくでおかいものに行ったときのことです。

ぼくがトイレに行ったら、くるまイスのトイレがつかわれていました。

まっていると、なかからくるまイスのおばあさんがでるとき、ドアがすべってしまった。しまい、なかなかでれなく、こまっていた。ました。

そこでぼくがドアをあけて、おばあさんがでるのをたすけてあげました。

おばあさんが、「あらがとう。」とこってくれました。

とってもうれしかったです。



小学生

しゅっかく楽しかったよ

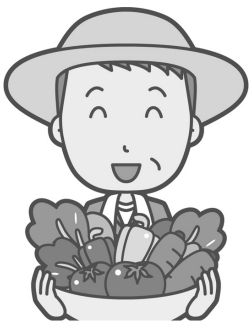
わたしは、あまり野さいが好きではありません。

おじいちゃんの家遊びに行った時、野さいを作っている畑に行きました。出来ている野さいをたくさんしゅっかくしました。

持ち帰った野さいを食べてみると、すごくおいしくてびっくりしました。

それから野さいが好きになりました。新しい野さいが食べられる私は、しあわせだと思います。

おじいちゃんありがとう。
これからもたくさん野さいを食べよう。



まよってしまってあじがひい

ぼくのお母さんは、じぶんのいえがわからなくてこまっていて、おばあさんをたすけました。

けいさつに電話をして、おまわりさんが来るのをまっくしている時ときに、おばあさんが「私わたしがまよったせいでいじめんなさあ。」と、何回なんかいも言うから、お母さんは「おばあさんが家をまようくらいたくさんあるいてくれたから、私わたしは今いまおばあさんと一緒にたの楽しんでいて、おしゃべりで喜んでたよ。あじがひい。うう。」

お母かあのこのまよってあったか言葉ことばです。



みんなが安心して生活できる世の中に

ぼくが電車で名古屋に出かけた時のお

話です。ぼくは、運転している姿が見たか

つたので、先頭車両に行きました。

岐阜駅に着き扉があくと、車掌さんが何

かしていて、何をしてるんだろうと思った

時、電動車いすに乗った男の人が入ってき

ました。

車掌さんは、電車とホームの隙間を埋め

るため、スロープをかけていたのでした。

そして、金山駅に着くと、待っていた車掌

さんが、降りられるようにして、車い

すの人が安心して

通勤でき、すべ

と思いました。



やさしい気持ち

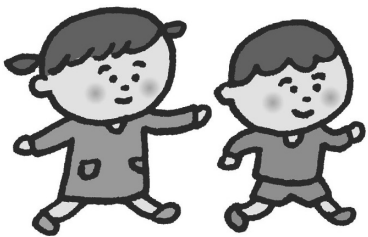
わたしの友だちのCちゃんには3さいのTくんという弟がいます。

この前まえいっしょに遊あそんだ時とき、みんなでおいづっこや花火はなびをしました。

Tくんとわたしが、ぬいぐるみでもうづっこをした時とき、Cちゃんがわたしの耳みみもぐで「一回いっかい負まけてあげて」と言いいました。

Tくんが勝かった時とき、みんなで「わーっ、すごいね。」と盛り上がりました。

Cちゃんのやさしい気き持もちとTくんのエ顔がほが心こころにのこりました。



わすれ物

お母さんと買物に行った時、くつ売り場にゲーム機がおきわすれてありました。わたしは、どうしたらいいか分からなくて、お母さんにつたえました。

「どうしたらいいと思う?」と聞かれたので、わたしだったららないちゃうかもしれないと思います、レジの人にとどける事にしました。

レジの人は、「ありがとうね。」とうけとりました。持ち主がとりに来たかは分からないけど、ぶじに持ち主の所にもどってよろこんでくれたら、うれしいと思います。



家族

6月におじいちゃんが83才でなくなりました。毎日「行ってらっしゃい。」「おかえり。」と、いい声で言ってくれました。今はその声が聞けなくてさみしいと思います。

おばあちゃんもさみしいと思います。

だからぼくは毎朝、元気に「行ってきます。」と大きな声で言います。それからまい晩、おばあちゃんの部屋に行って、学校のことを野球のことを話します。

おばあちゃんが元気に
なっ**て**ほしいからです。



家族でおまじい

ぼくのじいじが6月がつになくなりました。
それから毎日まいにち、ぼくは家族かぞくとおきょうをよ
んでいます。ねむい日もがんばってよんで
いるので、家族かぞくから「毎日まいにちありがとう。じ
いじもよろこんでいるよ。」とほめられ
ます。

ぼくは、じいじがいなくなって、さみし
くておきょうをよんでいるけど、ぼくのお
きょうでじいじもさみしくないといいなあ、
と思います。

じいじのすがたは見
えないけれど、ずーっ
と家族かぞくはいつしよだか
ら安心あんしんしてね。じいじ。



気を付けてね

「気を付けていってらっしゃい。」

わたしのお母さんは、わたしが学校に行くとき、いつもこう言っていて見おくらせてくれます。

学校の行き帰りに信号機のある横だん歩道をわたる時も、「右左右をしっかりと見て、車に気を付けてわたるようだ。」とお母さんがよく言っています。

その横だん歩道を通るとき、いつもお母さんの声がわたしの心にびびっています。

いつも心配してくれてありがとう。車に気を付けて毎日元気で学校に行きたいです。



『がんばってね』の一言

一学期の終業式で、私は校歌をひくことになっていましたが、前日のリハーサルで失敗してしまい、「上手にひけるかな」と不安でいっぱいでした。

そんなとき、友達と電話していると、最後に、「明日がんばってね。」と言ってくれました。私が校歌をひくことを覚えていたこともうれしかったけど、何より、「一言」ががんばってね』と言ってくれたことがうれしかったです。

本番は大成功でした。
成功するには、努力も
応えんも必要だと感じ
ました。



あつむしのプレゼント

僕は、朝がとても苦手だ。だから、朝、お母さんに起こされてもおきるこたができない。そして、お母さんとすべケンカになつてしまう。

ある日、機嫌が悪いまま外に出ると、外には友達がいて、すべに「おはよう」と、さわやかなあいさつをしてくれた。

ぼくは友達のさわやかなあいさつと共に、心もさわやかになった。

帰ったらお母さんがいた。そして、友達のようにさわやかに「ごめんさい」を言えた。



「ごめん……」

あったかい豚汁

災害のボランティアでの出来事です。豚汁の炊き出しが始まると、高校生ぐらいの男の人が真っ先に飛んで取りに行っただ。

「勝手だなあ。」と思っただ見えていたら、豚汁を足の不自由なおばあちゃんのところへ持って行って、

「あったかいうちに飲んでね。」

と言が残すと、自分の分をもらいに長い行列の後ろにならび直してました。



小学生篇

『ありがとう』がいっぱい

わたし 私たちのまわりでは、知らないうちに「あ

りがとう」がいっぱい。

ちよっとしたしゅんかんを、

「ありがとう。」

学校では、「黒板を消すのを手伝ってくれ

て、ありがとう。」

家では、「肩たたき、ありがとう。」

いつも「ありがとう」がいっぱい。

みんなの笑顔もいっぱい。

笑顔をつくるまほうの言葉

『ありがとう』



小学生

いっしょにサッカー

ぼくが、城あとで一人でサッカーの練習をしていて時、大学生くらいの人が八人くらいサッカーをしに来ていました。

ぼくが練習を続けていると、大学生の人が、「いっしょにサッカーしよう。」と言って、ぼくのことを『サッカー少年』と呼んでくれて、いっしょにサッカーをしてくれました。

大学生のやさしい行動で、とても心が温まりました。

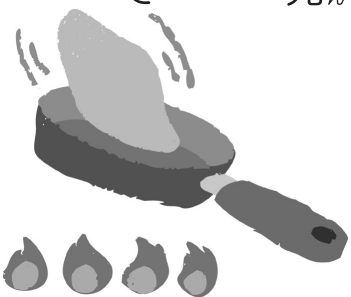


おじいちゃんに作った玉子焼き

おじいちゃんは、ガンという重い病気で入院しています。私は、おじいちゃんに元氣になってほしくて、玉子焼きを作ったあげようと思いました。

家からフライパンと玉子と油とハシを持っていき、病院のキッチンで作りました。人が見に来て恥ずかしかつたけど、やきたの温かい玉子焼きを、おじいちゃんがよくこんでくれたのでうれしかったです。

「おいしいね。これは元氣になれそうだ。」
 そう言って何回も食べてくれました。



おばあちゃん大好きだよ

僕のひいおばあちゃんは九十五才

ぼくと会った日に、「あんだだれやな?」

と言う。何回教えても、同じセリフ。

でも、名前を言うと笑ってだきしめてく

れる。だから、ぼくはうれしくなる。

また五分後、おばあちゃんは、「あんだ

だれやな?」と聞いてくる。

ぼくは何回でも教えてあげるよ。

おばあちゃん大好きだよ。



クラスの友達

帰りの会のカバンかたづけの時に、一人の友達が、からかわれて、ばかにされている所を見ました。私はいやな気持ちになりましたし、しんぱいになったので、先生にそう申しました。

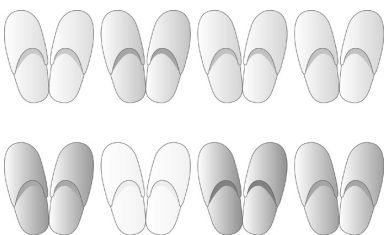
「このままだとイジメのクラスになるから止めてください。」と、私は言いました。すぐに先生はクラスみんなに話しました。からかっていた子は、ちゃんとあやまって、なかなかおりました。あの時ゆうきを出して先生に言ってよかったです。ありがとうございました。



スリッパをそろえていた男の子

ぼくが、かぜをひいて病院に行った時の
 話です。スリッパをはいて名前をよばれる
 のをまっている時、入り口のげんかんの所
 で一人の男の子が、ちらばっていたスリッ
 パをそろえていました。ぼくは、とてもび
 っくりました。

その男の子は、せきをしながらスリッパ
 をそろえて、終わった時もせきをしていま
 した。男の子は、自分がつ
 らいのみんなのためにス
 リッパをそろえていたので
 「いい仕事をこなしたなあ。」
 と思いました。



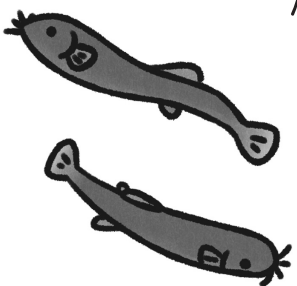
トジヨウを助けたよ

私の家の前に、用水路があります。そこは、朝から夕方の決まった時間だけ水が流れるようになっていて、その間トジヨウなどが流されてくる事があります。

夕方、水が止まった後の用水路を見ると、行き場を失ったトジヨウなどが動いているのを見つけることがあります。

このままにしておいたら、ひからびて死んでしまうと思った私は、近くの水がある所に、にがしてあげました。

水の中を元気に泳ぐすがたを見て、助けてあげられてよかったと思いました。



なにげない一言

ある日、家族と食事に行ったときのことです。私たちが外で順番待ちをしていると、お店から出てきた、まだ保育園に通っているような小さな兄妹が、

「ごちそうまででした。」と、店に向かって、大きな声で言っていました。小さな声で言っている人はよく見かけるけれど、大きな声で言うのは、すごいな、えらいなと思いました。

まだ小さな子どもから学ぶこともたくさんあるんだなと思いました。



ひみつのお手伝い

お母さんは、毎日暑い中で体を動かしてお仕事をがんばっています。そこで、ぼくは、お母さんに少しでも体を休ませてあげたかったので、お母さんがお風呂に入っている間に、大量のせんたく物を一人でたたくのであげました。

お風呂から出たお母さんは、たたんだせんたく物を見て、「すごい！これ、あなたがたんでくれたの？ありがとう。」と言って、ぼくに最高の笑顔を見せてくれました。ぼくも、お母さんの笑顔が見られてうれしかったです。



ぼくの弟

僕と弟は八つとしがはなれていて、弟はまだ赤ちゃんです。いつも転んだりして泣いています。だからぼくは、おこしてあげたり、だっこしてあげたりしています。

この前、ぼくがおかあさんにおこられて泣いていた時、弟がよっこきこ、ぼくは、「よちよち。」と言いながら、あたまをなでてくれました。

おこっていたお母さんも、泣いていたぼくも、わらいました。

みんなやさしい気持ちになれました。



ホタル

おじいちゃんとおばあちゃんが7月の初めの夜、歩いてお店に買い物に行ったら、帰りのことです。川を見て歩いていたら、何か目がチカチカするので、目がおかしくなったと思ったとき、よく見るとホタルでした。

「うちのみずは あまいぞ」と言っている指を出したところ、そこにホタルがとまっていたそうです。

「ホタルもやさしい人を見分けられるのかな?」と言っていました。

私は心の中で、本当だと思いました。



やさしい言葉の力

わたしには、生まれつき目の病気があります。そのことで、クラスの子に、悲しい気持ちになる言葉を言われました。そのときは、泣きそうになるぐらいいやな気持ちになりました。

でもその時、「そういう子もいるから気にすることないよ。」と、やさしい言葉を書いてくれる子がいました。

悲しい思いをしたけど、やさしい子がいてくれることの方がうれしくて、その言葉のおかげで、何を言われても大丈夫と思えてきました。



わたしのおじいちゃん

わたしのおばあちゃんとおじいちゃん

は近くちかにすんでいます。

おばあちゃんは、しょうがい者じやなので、

おじいちゃんなしでは、せいかつできませ

ん。おじいちゃんはまいにちせんたく物ものを

ほしたり、ごはんを作つくったり、かい物ものに歩

いて行いったり、車くるまに乗のる時ときに後ろうしろからさ

えたりしています。おばあちゃんのために、

長い時間ながじかんさん歩ほして、体力たいりき作りつくりをしていま

す。やさしいおじいちゃん

んを、わたしもささえて

あげたいです。



悪時々「ー〇ー」

私には七つはなれた弟がいます。

弟は、私が勉強している時や好きなテレビ番組を見ている時に、ちよっかいを出してきます。

また、私と弟がケンカになるとすぐに泣き出すので、私が親に怒られる時もあります。なので、正直弟がにくたらしいと思います。

だけど、こんな弟も、私が親から厳しく怒られて泣きそうになつていると、

「お姉ちゃんをいじめちゃダメ。」
と、たまに私の「ー〇ー」に変身します。



一人のおばあちゃん

私は、ある日電車に乗っていました。同じ車両に赤ちゃんをおんぶした女の人もいました。しばらくすると、赤ちゃんが泣き始め、女の人があやしても泣やまず、一人の男性が、「うるせえなあ。」と大声で言いました。女の人は謝るけれど、男性は、ずっと赤ちゃんに対して不満を言っていました。ですが、一人のおばあちゃんが、「あなたこそうるさいわよ。静かにしてください。」と言ってくれたので、なんだか心がスツとしました。



一人の女性と知り合った習い事

わたしなら、私が習っている空手では、大会が多くな
 る月や少なくなる月があります。私は、三
 回戦って一回も勝ったことのない子と決
 勝戦で戦うことになりました。私がぎん
 ちようしている中、声をかけてくれた女性
 がいきました。その方は、私のことを大会で
 知り、私を「上手」と言ってくれました。
 その言葉で私はゆう気もらいました。結
 果、私は相手に勝つことができました。そ
 の女性と話すことはなくなっただけ、とて
 も感謝しています。



駅で見つけたすてきなおばあさん

私が友達との待ち合わせで駅にいた時に、すてきなおばあさんを見つけた。その人は、キップを買うのにとまどっている外国人にやり方を教えていた。

しかし、その人は、英語がそこまで話せているわけでもなかった。だから、教えてあげられるそのおばあさんのやさしさを、私の心はじんわりと温まった。

自分もおばあちゃんみたいにな、勇気を出して、こまっという人に声をかけていきたいと思う。



夏祭りの出来事

地域の夏祭りが終わった後、私の両親は町内の役員なので、後片付けをしています。その中に、中学一年生の女の子が一人大人にまじってやっています。自分から進んで重たい物を持ったり、ゴミを拾ったりしていました。とても暑くて、汗をたくさん流してやっていました。周りの人は、「あじがどう。もう帰っていいよ。」と書いていただけ、最後まで汗を流していました。私はそれを見て、そんな姿をめざしていききたいと思いました。



気持ちを言葉に

いつもほくたちのために朝食を作って
から仕事に行っている母に、姉が、「あり
がとう」と言っています。ほくは、なぜ「あ
りがとう」と言っているのかが不思議でし
た。それは、母が朝食を作ってくれるのは
当たり前だと思っていたからです。

しかし、母は朝早く起きて、朝食を作り、
朝食の準備をしてくれていたことを知り
ませんでした。なので、これからは、感謝
の気持ちを忘れず、また、
気持ちを言葉にして伝え
たいです。



久しぶりの再会

ちよひきにゆういん
長期入院していたばかりの親友と三カ月
ぶりにテレビ電話で話せることになった
時のこと。

はやく なんじち
僕は何日も前から、あれもこれも話そう
かんが
と考えていた。でも、いざ画面を通して親
ゆう ひき
友に久しぶりに会うと、もう胸がいっぱい
かんが
になってしまつて、考えていたことを半分
はな
も話せず、入院中の親友がつかれないよう
でんわ
にと電話を切りました。

はな
あまり話せなかつたけど、ぼくは、親友
かあ め み
の顔、目を見て話せたことがうれしくて、
でんわ
電話を切った後、
なみだ
涙が止まりません
と
でした。



市民運動会

ぼくは、毎年、市民運動会を楽しみにしています。地いきの人たちと一つのチームになって、一緒に競技に参加しています。

地いきの人に「がんばれー」「がんばったね。」「と応援してもらったり、一緒によろこんだり」ととてもうれしい気持ちになります。

そのときに名前を覚えてもらって、通路で地いきの人に会ったとき、名前をよんでもらって、あいさつするとき、ぼくは、とてもうれしい気持ちになります。



私にもできる事

夏休みに家族で電車で乗りました。

「席をゆずりました。」と、お母さんは小さい子を
だっこした人に席をゆずりました。

「お母さんもつかれているはずなのに大丈夫？」と、聞くと、「お母さんも昔、同じように席をゆずってもらって、とても助かったのよ。」と、教えてくれました。

次の駅ではお母さんが乗ってきました。
「席をゆずりました。」と、私も席をゆずりました。

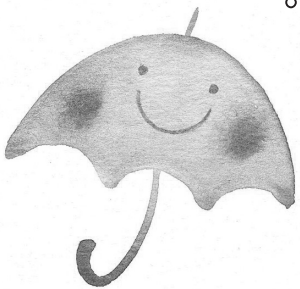
「ありがとう。」と、よひんごでくれました。

私にもできる事
があるんだと、うれ
しくなりました。



神様のかさ

うちには、神様のかさがあります。それは二年前の夏、お母さんが福岡に行った時の話です。お母さんは、友達と友達の二歳の子と一緒に街を歩いていました。すると、急に雨がふりだしました。お店のかさも売り切れて困っていたところ、二人組のうちの一人の男の人が、自分のかさを「どうぞ。」と言って、もう一人のかさに入れて行ってしまうしました。おかげで、お母さんたちはぬれずにすんだそうです。
 次は、ぼく達が回す番です。



魔法のあいさし

前まで私は、あいさつをする事は苦手で
 した。なぜなら、はずかしいと思つのはも
 ちろん、あいさつをしてもどんな良さがあ
 るのか分からなかったからです。

でもある日、登校中に民生委員の方が私
 にあいさつをして下さいました。私はあい
 さつを返そうか迷ったけど勇気を出して
 言ってみました。あいさつした後、心が「ば
 あ〜」っと明るくなり、今まで持っていた
 モヤモヤがどこかへ飛んでいった気がし
 ました。

「あいさし」って魔法の
 言葉なんです。ね。



優しい兄

兄と二人で公園に行った日。はしゃいで草につまづき、怪我をした僕に優しく手を差しのべてくれた兄。その後、兄は公園の遊具のそばの草をきれいに抜き、

「もう誰も転ばなくなるね。」

と笑って言いました。怪我をした僕だけじゃなく、その後遊ぶ誰かのためにも優しい兄を見て、僕も心が温かくなりました。僕も怪我をした痛みを忘れ、兄と一緒に草取りをしました。

誰も転んで怪我しません

よかったです。



勇気ができた一言

わたしは、二年生の時に話すのが苦手でした。授業であたっても、立ったら話せなくなり、「忘れました。」「や」「わかりません。」「と言っていて、ごまかしていました。

ある日、授業であたって、またごまかしてすわるうしろしたら、このことを知っている友達が、「大丈夫だよ。言ってみて。」と私にささやいてくれました。

その日から、私は授業であたっても、ごまかさずに、つまづきながらも発表することができるところになりました。

感謝しています。



友達のやさしさ

私は、友達とけんかしたとき元気がなかつたら、ちがう友達が声をかけてくれました。けんかしたことを話すと、「勇気を出してあやまってみれば。」と、やさしい声で教えてくれました。私は次の日、勇気を出してあやまりました。すると、「私の方こそごめん。」とあやまってくれました。その時、相談に乗ってくれた友達のやさしい心に、心がポカポカしました。



中学生

ありがとうであふれる私の毎日

わたしは素直になれません。素直になれないので今まで損をしてきました。友達とケンカをした時も、親とケンカをした時も「ごめんね」が言えなくてなかなか仲直りができませんでした。

そんな私を見て友達が言ってくれました。「ごめんねが言えないならありがとうを言えるようにしたら？」と。私に怒りずらずアードバイスをしてくれて気持ちが悪くなりました。

あの日から私の毎日
ありがとうであふれています。



中学生

うれしい手紙？

私の地域には資源分別ボランティアがあります。資源分別ボランティアは地域の人が家の前に資源をおいておく私たちが中学生が回収するというものです。

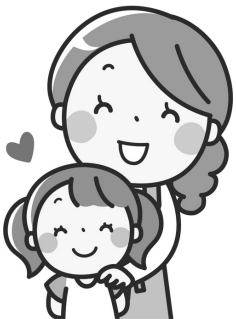
ある日私がボランティアをしているところある家の前に資源がありました。回収しようと思い近づくとその資源の上には紙が置いてありました。その紙には「中学生のみなさん、いつもありがとうございます」とかいてありました。それを見た瞬間私はすごくうれしい気持ちになりました。



お人好しの母

私の母は、お人好しです。何かのリーダーを決める時、「やってくれませんか？」と言われると断らず、「誰かがやらないといけないから」と引き受けます。私は、自分の意見を言わない母にいら立ちを覚えていました。

母と二人で出かけた時、強い風が吹いて知らない人の自転車が何台も倒れてしまいました。その時、母は迷いなく、起こしに行きました。それを見た周りの人も手伝い出しました。私は、母のような人になりたいです。



かい物もので

私は前まえ、母ははと買物かいものに行いったときがあつた。

そのモノレールで、目めの見みえない人ひとがいま
 した。つえをついていました。目めが見みえな
 いからその人ひとは前まえにある段差だんさに気きづきま
 せんでした。周まわりの人ひとがその人ひとがころばな
 いように、声こゑをかけました。

その人ひとは笑顔えがおで「ごめんね。ありがとう
 ね。」と言いいました。

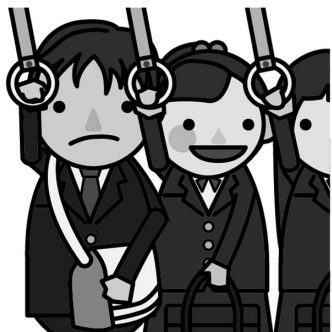
周まわりの空く気がほんわか温あたたかくなりました。



中学生

さりげない優しさたち

学校で、研修に行くために、電車を使っ
た時です。始発だったのでクラス全員が座
ることができました。だんだんと人が増え
ていき、様々な方が乗られてきたとき、ク
ラスメイトの何人もが席をゆずっていま
した。終点まで到着し電車の中を見たらク
ラスメイトの半分くらいが席をゆずって
いました。あたりまえの事ですが、すごく
クラスメイトをほこりに思えました。



中学生

それぞれの良い所

私はだいぶ前からある子が嫌いでした。
何か聞いても全然応えてくれないし、やっ
といてと言っても全然できてなくて、やっ
も嫌でした。でも、その子が部活でできな
い所を一生懸命練習していてその子も自
分なりに頑張っているんだと思っただし、そ
の子には良い所もたくさんあって、前まで
は嫌な感じで話してた自分が嫌に思いま
した。それからその子には優しく接し、で
きない事があつたら一緒に
考えたりして、楽しく話す
ことができます。



トイレ

僕がトイレに行くと、十人ぐらいの人が並んでいた。その列の先頭の人は大なきした赤ちゃんと同じだった。すると若くてキレイ男がその先頭の人に、「赤ちゃんはおむつがあるからいいだろ」とさげびつけて、みんなどうしたらいいか困りはてていた。

その時、どこからかおばあさんがやってきて「あなたも使えば」といって大人用のおむつをさしだした。すると若い人は困った様子でいちばんうしろに並んだ。皆すこし笑ったように見えた。



1. 料理

私のアパートの隣の部屋にインドネシアのご家族が住人（じゅうにん）でいるのですが、それまで関わったことが全くありませんでした。でもある日、小（こ）二（に）の娘（むすめ）さんが来て、その国の郷土料理をおすすめ（すす）め分（わ）けてくれました。とても不思議な味（あじ）でしたが、家族（かぞ）みみんなで味（あじ）わって食べました。それから（か）は会（あ）う機会（きかい）も増えて、あいさつもよく交（か）わっています。子供（こども）さんが来て、遊（あそ）んで誘（よび）って帰（かえ）ることもあります。私（わたし）はこの料理（りょうり）から生（う）まれた出（で）会い（あ）いを大切に（せつ）にしたいです。



中学生

一緒に頑張ろう

「一緒に頑張ろう。」

入学式の日にかけられた言葉。その日は、

とても不安だった。しかし、その言葉のお

かげで明るく前向きになれた気がする。

何をするときも、不安はつきものだ。し

かし、その不安を壊してくれる言葉を、あ

の言葉を今度は私が言う方になりたい。

「一緒に頑張ろう。」



花

私がたまに散歩する道端には、いつも花が咲いていた。季節が変わるたび、コスモス、ユリ……。「だれが植えて世話をしてくれるのだろうか？」と疑問に思い、少しその場で待ってみた。

すると、一人のおじいさんがやってきて、黙々と花の世話をやり出した。だれのためをやっているのだろう。聞きたいけれどもずかしい。でも、私の気持ちはうれしくなった。

今度、どんな気持ちで世話しているのか聞いてみようと思う。



感謝の言葉を伝える大切さ

僕の祖母は父や母が仕事の時に、毎日のように家に来てめんどうを見てくれます。

ある日、祖母が調子が悪いのに家に来てくれたことがありました。とてもえらそうだったので、少し祖母のやっている仕事を手伝いました。そしたら、「あじがとつね」や「少し楽になったわ」などとお礼の言葉を言ってくれました。僕はとてもうれしくなりました。

このことがあってから僕は、祖母や母に感謝の言葉を伝えられるようになりました。



言葉の力

学校でテストがある日の前日、私はすごく不安でした。そしてテストの日。学校へ行きシャープペンを出そうと筆箱を見ると、一つの紙きれが入っていました。そこには妹から、「一緒に頑張ろうね」と書いておりました。私は、すごく嬉しかったし妹も頑張っているから私も頑張ろうと思いましたが。

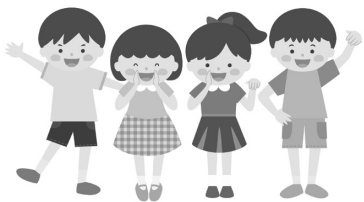
たった一つの紙切れに書いてある言葉で私はすごく嬉しい気持ちになり、元気をもらうことができました。



中学生

手招き

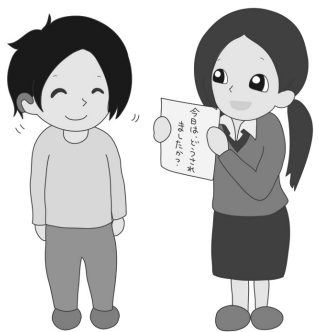
僕が小学五年生のある日突然、ある人に嫌われました。僕はなぜ嫌われているのかわかりませんでした。しかし、今年、そのある人と二人きりになってしまいました。僕は声をかけてみるとすごい目つきでにられました。僕は思い切って「なんで僕を嫌ってるの？よくあることだけど」と言いました。すると、その人は、小五の時、僕が手招きをしたら、その人にとっては「あっち行け」に見えたらいいです。僕はあやまると二人で笑いました。



周りの対応

「私は耳が聞こえません」というネックストラップ下げている方を見た。その方にお客さんが尋ねるとネックストラップを見せてメモ用紙とペンを渡し会話をして見た。終わった後、「遅くなりすみません」と紙に書いていた。お客さんは、微笑んでいた。

私は障害の方が一生懸命働いている姿を見て、元気をもらった。お客さんの対応からも、優しさを感じ、心が温かくなった。



大切な一言

五年生のころに私は一度いじめをうけました。いじめにあった次の日、ふでばこが見つかりました。かくしたその子は、なみだを流しながら「ごめんなさい。」と言いました。泣きながら必死にあやまってくれました。

私はその一言で、その涙で思いました。いじめを後悔しているところごと。

それからはずっと仲の良い友だちです。

「ごめんなさい。」のその一言は、人ごととして大切な一言だと

思います。



中学生

母 はは

私は部活のことでずっと悩んでいたことがありました。そのときはものすごくつらかったです。そんなときお母さんが私の思いを知り、涙を流しました。びっくりしました。でも今まで一人でかかえていたものがその瞬間なくなったかのように楽になりました。

誰かがつらい思いをしていたら共有する。変に口出しながらなくてもいい。ただそばにいてくれるだけで力になれるんだ。次は私がそんな存在になりたいです。



勇气とやさしさ

私が駅の前を通った時の話です。ふと駅の方を見てみると切符売り場の所にたくさんの方が見ていると切符売り場の所になんか行列ができていました。どうしたのだろうかと思っていた時、「はやくしろよ」という声が響きました。周りの人は知らんぷり。私も実際怖くて声をかけられなかった。

そんな時に改札を通った若い男の人が戻ってきて、声をかけにきてくれました。おばあさんは笑顔で何度もありがとこと言っていました。お兄さんの勇气とやさしさに目がそらせませんでした。

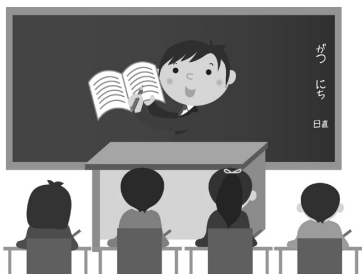


友達の手紙

わたしは、学校が苦手です。小学生の頃から相談室登校をしています。

四年生の頃友達が、「授業に行こう！」と誘いに来てくれました。でも私は行けませんでした。ある日友達が手紙をくれ、その手紙には、「一人じゃないよ」と書いてありました。私は誘ってくれても行かなかつたのに、それでも、嬉しい手紙をくれました。

そして、友達のおかげで四年生の三学期頃に、教室に行くことが増えました。今でもその手紙は大事にとってあります。



伝える喜び

僕は、六年生から、大垣の手話サークルに入っています。きっかけは単純で、「聲の形」という映画を観て感動したからです。

そこで初めてろうあの方と接しました。

あいさつべらいしかまだできずにいたのですが、先日「聲の形」の映画の話を一緒にしました。

他の方に助けてもらいながら、手話を使って話しました。僕のまだへたくそな手話を読みとってくれました。

伝わるということがすごく嬉しく、もっと頑張りたいと思います。



自分が変われば周りも変わる

自分には仲が良くて、「なんか嫌だな」
 と思うことや、「性格悪」と思ってしまう
 人がいた。あたかもその人が悪いように思
 ってしまった。

夏休み明け、「自分が変わってみよう」
 と思い、いつもより相手のことを考えて接
 していたら、その人の嫌なところがなくな
 った。

それからはとても楽しい。
 周りより自分に原因があったのかもしれない。

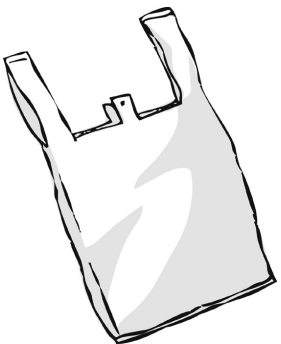


たった一枚のレジ袋

僕は、コンビニで買い物をした帰りに、レジ袋が破れて、中身が落ちて使えなくなっただけがありました。なので予備を持つようになしていました。

ある日、コンビニに向かっているときにレジ袋が破れて困っているおじいさんがいました。僕はとっさにレジ袋を取り出して「使ってください。」と渡しました。

すると、おじいさんはとても喜んでくれました。レジ袋一枚だけでも人助けができることを発見して、自分は嬉しい気持ちになれました。



ちよつとつたゴミひろい

僕には、兄がいます。兄はいつもお風呂の前にトイレリングをしてからランニングに行きます。

ある時、手にゴミ袋を持って行くのを見ました。帰ってくるを持って出た袋の中にペットボトルやゴミが入っていました。

それは何かと聞くと、道にあった大きなゴミなどを拾ってきたと話してくれました。僕は夏休みに、ある地域清掃でゴミ拾いしたけど、ふだんから気づいた時にしている兄はすごいと思いました。



中学生

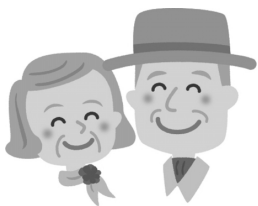
学んだ親切

私が電車で広島へ行った時のことです。
長時間の移動で疲れ、私は熟睡してしま
した。

そこへ杖をついた老夫婦が乗車したら
しく、父が私を起こして席を譲るよう言
いました。無理矢理起こされ、正直腹が立ち
ました。

しかし、席に座った老夫婦にとっても感謝
され、会話も弾み、良い思い出になりま
した。

今考えると、父は教育のために私を起こ
してまで、人に親切にする
大切さを学ばせてくれたの
だと思っています。

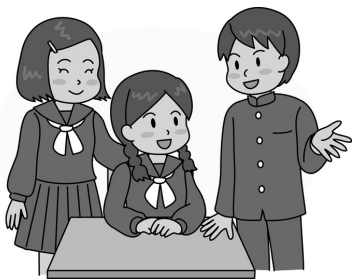


見た目で判断しないということ

クラスにいる、Aさんは、周りからとても嫌われていました。だから、私も周りにも影響されていました。

体育祭の取り組みが始まってからのあの昼休み、次の授業が体育で私は用事があるって遅れて教室にいつて、はちまきをとりにいこうと入ったら、Aさんは一人で机列を整えていました。

その後、「時間大丈夫？」と声を掛けてくれ、何か今までの事を情けなく感じました。見た目で判断しないようにしたいと思います。



子猫の小さな命

少し前、僕の家で五匹のノラ猫の赤ちゃんが産まれました。

しかし母親は猫嫌いです。気になって僕は、いつもチラチラと確認に行っていました。ある日突然いなくなっていました。

次の日、台風二号が来ていて、大雨の日、親猫は庭をうろうろとしていました。子猫の姿はありません。

気になった母親は雨の中、子猫を探しています。とても雨水がたまっている田んぼに入り、子猫を助ける猫嫌いな母親にはっこりしました。



助けたいと思う気持ち

東日本大震災が起こった後、私は募金活動に参加しました。そんな中、幼稚園からの男子とそのお母さんがいました。

その二人の会話と男子の行動に周りの人達は心を打たれました。男子は今までかんばんってためてきた五千円全てを募金すると言いました。

お母さんは、せっかくだめたからちよつとにしたら、といますが、「いい。いい。」と言ってお金を渡してくれました。

困っている人を助けたいという思いは、みんな一緒だと感じました。



高校生

おじいさんの枝豆

普段中々会うことが無い近所のおじいさんと偶然すれ違った時、「こんにちは」と大きな声で挨拶をしました。

すると、おじいさんも笑顔で返してくれました。

気分が良くなり家に帰ると、そのおじいさんからザル一杯の枝豆をいただきました。挨拶をしただけなのにと申し訳ない気持ちもありましたが、感謝の気持ちで受け取りました。

いつも食べる枝豆とはどこか違って、とても美味しく感じました。



おもしろい

以前、名古屋へいこと遊びに行った時の事です。駅のホームの階段で、荷物を沢山持ったおばあちゃんがいました。

私は、皆とはべれないようにすることで精一杯で、気付きませんでした。

しかしいとこが気付き、荷物を上まで持って行ってあげていました。

気付いて声をかける勇気も優しさもすごいと思います。尊敬しました。

その時のおばあちゃんの、本当に気持ちのこもった「ありがとう。う。う。は、今でも忘れられませぬ。



高校生

ダメなことをダメという心

以前、友人と公園で遊んでいた時、「このくらいいいや。」という軽い気持ちで私はポイ捨てをしようとしてしまいました。

その時一緒にいた友人が、「それはダメだよ。掃除をしてくれる人のことを考えなきゃ。」と言ってくれました。

ダメなことはダメと、しっかり言ってくれる友人の人格の良さにとても感動しました。

もし逆の立場だったら、言いにくくて言えないと思います。友人の言葉は今でも忘れません。



高校生

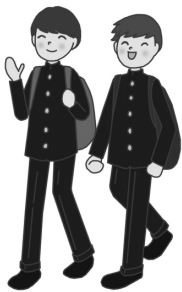
思いやりとは

高校に慣れてきた頃の下校中、小さな子どもを連れて電車に入ってきた女の子がいました。

私は席を譲ろうか迷ったけど、恥ずかしくて声を掛けられずにいました。すると、重そうなる荷物を持った他校の子が、二人を見た瞬間に、「座ってください。」と声を掛け、その席から離れていきました。

遠慮している女性を気づいて、声を掛けるだけでなく、さりげなく去っていく姿に感動しました。

私も相手の気持ちを察して、誰かを思いやれる人になりたいです。



高校生

思いやりの心

以前、電車に乗っていた時、座席に座っている私の近くに老夫婦が乗車してきました。

席を譲らなければいけない、と思ったのですが、なかなか勇気が出ず、声を掛けられませんでした。

すると、私の前に座っていた若い男性二人が、その老夫婦に「もうすぐ降りるので、どうぞ。」と言って、席を譲っているのを見ました。

その男性二人が降りたのは、私と同じ三駅後でした。本当の「思いやり」の姿は何かを、その二人から学ぶことが出来ました。



助け合いの輪

私が地域の資源回収にボランティアで参加した時のことです。

地域の人が集めてきた資源を車から降ろし、種類別に分別するのですが、その時は車から資源を降ろしていた人に少し多めに持たされてしまいました。

重くて困っていたら、一緒に参加していた友人が手伝ってくれました。

嬉しかったので、私と同じ様に困っていた子を手伝ってあげると、

「めいがかひい。」と言われたますます嬉しくなりました。とても幸せな気持ちになりました。



高校生

助け合うことの大切さ

旅行でアメリカに行った時のことです。

言葉も分からなくて道に迷っていた時に、
通りかかった人が、困っている私たちを見て、
ジェスチャーと知っている日本語で、
優しく教えてくれました。

そのお蔭で、行きたい場所に無事着くことが出来ました。

私も外国の方が道に迷っていたら、勇気を出して声を掛けようと思います。

言葉が通じなくても、気持ちがあれば伝わることを知りました。勇気を出して声を掛けてくれた人に対する感謝です。



町の安全

以前、家の前の公園を散歩していた時のこと。私の前に、自転車に乗った女の子がいました。女の子はイヤホンで音楽を聴いていたので、車に気付いていないようでした。私が声を掛けると、慌てて歩道側に寄りました。

女の子は「ありがとうございます。」と言ってくれて、ホッとしました。

何よりも自分の町で事故が起きるのを防げたいし、安全な町づくりにちよつと貢献できたと思いました。

また、改めて交通ルールを見直し、心がけていきたいと思いました。



毎朝のあいさつ

わたしは毎朝駅に行く迄の道で、沢山の人に会い、挨拶をしています。

或る日の朝、必ず犬の散歩をしていて日常的に会っている人に、いつものように挨拶をしました。

すると、その人は挨拶を返してくれ、「毎朝元気がいいね。いつも朝から私も元気をもらっているよ。ありがとう。」と言われ、とても嬉しく、挨拶をしていて良かったなあと思いました。

たった一言だけで人を元気にさせる力のある言葉の力はすごい、と思いました。



小学生の優しき

わたしは通学途中に心温まる場面を見ました。

小学生の男の子が一人、通学班から外れて遅れていました。きっと、重いランドセルや他の荷物があったからだと思います。

同じ通学班の子はしゃべっていて、気付いていなかったけれど、一人気付いた女の子がいました。その子は男の子の所へ行き、荷物を持ってあげ、手を取って一緒に走って通学班に戻って行きました。

私は小学生の優しさを見てハッピーになり、この優しさが人を救うと思いました。



高校生

優しいスーツマン

僕は、電車で学校に通っている。駅まで

は、お母さんに送ってもらっている。

その道のりで、細い道を通らなければな

らないのだが、朝ということもあり、徒歩

の人や自転車で駅に向かう人がいる。

急いでいて、端に寄ってくれない人や、

車をじゃまそうに見る人もいる。

その中で、スーツを着ている若い男の人

だけは、時間の無いなか、毎朝立ち止まり、

車を優先して通させてくれる。

少しの気遣い、優しさをもっている、そ

んな人になりたい。



落とし物

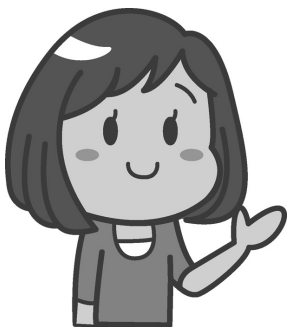
「これ、落としましたよ。」という声で振り返ると、顔を紅くした中学生の女の子が黄色のキーホルダーを差し出した。

それは、私の祖母からもらって鞆に付けてあったキーホルダーだった。

とっさに「ありがとう。」と言ったけれど、中学生の子はすぐに待っている保護者の車に走って行ってしまった。

「拾ってくれてありがとう。」
穏やかな自分を感じることが心地よい。

私は優しい気持ちも
おとしていたのかも
しれないと思った。



あたたかい心あたたかいこころ

これまでの経験けいけんでいちばん感じたことは、日本人にほんじんのあたたかい心こころです。

ある日ひ、アルバイト中ちゆうに掃除そうじをしていたら、機械きかいの物ものが落ちて壊こわれて、私わたしはこわくなりました。

その音おとでみなさんが走はしってきました。

みんなが、「けがをしてないですか。」と言いいました。

それを聞きいて、びっくりしました。なんでもおこらないのと思おもいました。

私わたしは何回なんかいも「すみません。」と言いって、そのときもみんなが、「大丈夫だいじゆう、大丈夫だいじゆう。」

と言いいました。本当ほんとうに日本人ほんじんは心こころが温あたたかいと思おもいました。



初めての日本

わたしは日本にはじめて来たとき、電車のきっぷとか時間とか、乗り方がぜんぜんわかりませんでした。それはいちばんたいへんだし、しんぱいだったことです。

それからわたしは駅で日本人を見ました。そのとき、日本語もまだしゃべれませんでした。聞きたい、でもちよつとはずかしかったです。そのとき、日本人の女の子が、わたしがこまっていることに気がついてくれました。

その女の子がわたしに、電車の乗り方ときっぷの買い方をおしえてくれました。日本人はほんとうにしんせつだ？

ったことがわかりました。さいごは女の子に、ありがとうごじやいましたといいました。



双子

九年前にかわいい女の双子を出産した。

出産後は、慣れない育児に毎日があっという間に過ぎて行った。

あの日から元気に育ってくれて、とても親孝行の女の子に成長した。

「カチャカチャ、シャー」

私がお風呂に入っていたら、聞き慣れない音がした。そーっとのぞくと、二人で協力して、洗い物をしていた。

一人が洗剤で洗い、一人が水で流す。

やさしい双子の

気持ちに心が熱くなった。



優しさ

夏休みに家族でスーパーに買い物に行つた時、車いすの女性が、高い所にある商品に手をのばして取るうとしていましたが、取れませんでした。

そこへ女子中学生が寄って行き、商品を取りカゴに入れてあげました。

その様子を遠くで見っていた子ども達と目を合わせ、「ホッ」と胸をなで下ろしました。

子ども達も、女子中学生のように心優しく成長してほしいと思います。





清流ミナモ

清流の国ぎふ



※この冊子は、法務省委託事業により作成されています。